

今知りたい！学生の声の掲示板

Q1. 年金に対する不安はありますか？

A…不安を感じている学生が多かったが、中には不安を感じていない学生もいた。

Q2. 最近年金という言葉を見たり、聞いたりしたのはどこですか？

A…テレビだと答えた学生数が圧倒的に多かった。

ここで驚いたのが次に多かったのが新聞ではなく、Twitterであった。

ここからSNSは今の学生には情報を与えてくれるツールになっていると言える。

Q3. 年金制度について知ることができる機会が必要だと思いますか？

A…必要だと答えた学生が最も多かったが、その次に多かったのは「いいえ」であった。

(帝京大学調べ)

○様々な選択肢

テレビ・新聞・本などの代表的なもの以外の例を挙げてみよう！

- ・ SNS (Twitter・Instagram)
- ・ 保険のチラシ
- ・ 授業
- ・ YouTube
- ・ LINEニュース

(帝京大学調べ)



画像引用元：年金ポータル



https://www.ideco-houkoku.jp/



https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/qa_nisa/index.html



https://www.ideco-houkoku.jp/

知ることによって不安が軽減③



https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/sumitaka/overview/index.html

疑問を解消したい・・・!

年金ポータルには情報がたくさん!

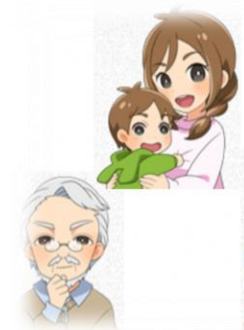


年金は何のため？

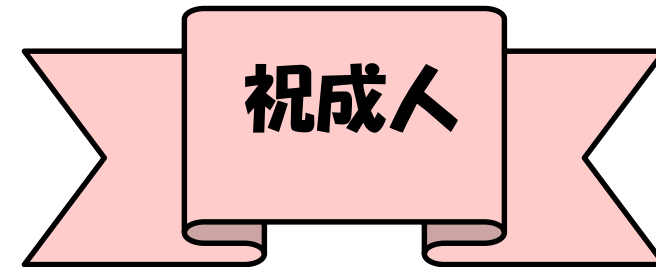


年金のしくみは？

画像引用元：年金ポータル



人生を考えるのはあなた自身です。「いま」考えてみませんか？



成人
おめでとうございます♪
ございます♪

学生納付特例制度って？

日本国内に住むすべての人は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられています。学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本人の所得が一定以下（注1）の学生（注2）が対象となります。なお、家族の方の所得の多寡は問いません。

（注1）本年度の所得基準（申請者本人のみ）
118万円+扶養親族等の数×38万円+社会保険料控除等
（注2）学生とは、大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校（※1）、一部の海外大学の日本分校（※2）に在学する方で夜間・定時制課程や通信課程の方も含まれますので、ほとんどの学生の方が対象となります。

☆申請方法

住民登録をしている市（区）役所・町村役場の国民年金担当窓口・お近くの年金事務所、在学中の学校等

※出典：日本年金機構「国民年金保険料の学生納付特例制度」

ちなみに…何歳まで生きるか知っていますか？

65歳の女性

70歳	80歳	90歳	100歳
97%	87%	60%	14%

65歳の男性

70歳	80歳	90歳	100歳
92%	73%	35%	4%

※2015年65歳の場合

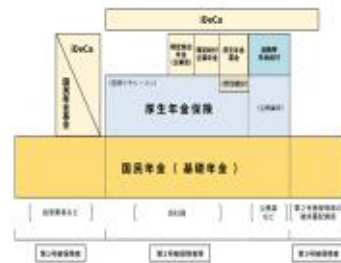
出典：厚生労働省「完全生命表」「簡易生命表」、国立社会保険・人口問題研究所「日本将来推計人口（平成29年推計）より試算したもの。

日本の物価はどう変わる・・・？

品目	1965年	→	2017年
鶏肉	100g	71.8円	136円 (1.9倍)
牛乳	瓶一本	20円	126円 (6.3倍)
カレーライス	1皿	105円	782円 (7.4倍)
コーヒー	1杯	71.5円	450円 (6.3倍)

※出典：総務省統計局「小売物価統計調査」

年金ってどんな仕組み？



出典：年金機構ホームページ
図像引用元：年金機構ホームページ

スバッと解決！

- ✓ 公的年金は2階建て
- ✓ 国民年金は日本国内に住む20歳以上60歳未満のすべての人が加入。厚生年金は会社などに勤務している人が加入
- ✓ 国民年金の保険料は原則として全員が同じで定額。厚生年金の保険料は収入に応じて変わります。
- ✓ 公的年金の上乗せとして、企業年金、国民年金基金などの制度があり、年金額を増やすことができます。

年金の財源は？

公的年金は、現役世代が支払う保険料をその時代の年金給付に充てています。
・支払う年金が増えすぎないよう、自動調整する仕組みが組み込まれており、
・それをまかなうための保険料については上限が設定され、
・足りない部分は積立金で補うこととしています。

- ① 現役世代が支払う保険料→上限を設定
- ② 積立金※を運用しながら一部を切り崩す
※年金に支払われなかった保険料を積み立てたもの
- ③ 国庫負担

増えすぎない仕組み
「マクロ経済スライド」



出典：厚生労働省年金局「わたしの年金とみんなの年金」資料より

へえ～！
もっと知りたい！
教えて！



将来どんな暮らしがしたいですか？
子供は何人ほしいですか？
何歳まで働きますか？

人生設計してみよう！！

人生設計の大切さを学ぼう！

何歳に結婚しますか？子供はほしい？いくら稼ぎたい？何歳まで生きる？
自由に書いてみよう！

詳しくは
おんきんネット！

